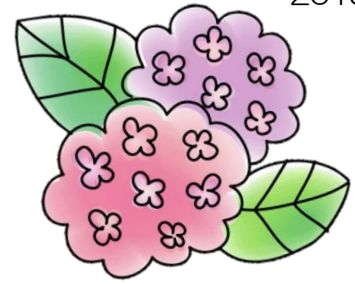


あじさい



「ステップアップ看護研究」研修会 平成30年7月28日(土)

7月28日(土)に第1回目の「ステップアップ看護研究」研修会を開催しました。この研修は、実践を通してステップアップ形式で看護研究能力を高めることを目的としています。第1回目は講義とグループワーク、第2回目はグループワークを企画しています。

今回の第1回目の研修には、講師に札幌医科大学保健医療学部看護学科の田畑久江先生、仲田みぎわ先生をお招きし、10施設から18名が参加しました。午前は、田畑久江先生から「看護研究の進め方：基礎編」について講義をしていただき、看護研究に関する概論的なことをはじめ、具体的な事例も踏まえて看護研究の進め方について学びました。午後はグループワークを通し

て、2人の講師から看護研究計画書の作成プロセス、看護実践における疑問や課題から研究活動に結びつける視点など、有益なご助言や示唆をいただきました。参加者は、看護研究を通して、いかに質の高い看護実践に結びつけるかということを考えてとともに、研究に取り組む意欲を高め、看護研究を進める上で必要な知識やスキルを深める機会になりました。

研修会の2回目は、11月10日(土)に開催します。第1回目の研修での学びを基に、実際に看護研究あるいは看護研究計画書の作成を進めたいうえで、疑問点や困難点などをさらに解決し、看護研究を自ら進める能力を養えるよう教育委員会では支援していきたいと考えております。



講義の様子



グループワークの様子

看護師職能研修会 平成 30 年 8 月 18 日(土)

平成 30 年度 8 月 18 日 (土) ロイトン札幌にて 105 名 (非会員 16 名含む) の方が参加し、札幌第 2 支部看護師職能研修会を開催しました。北翔大学・北翔短期大学部・山谷敬三郎先生をお招きし、『感情コントロールが苦手な人の理解とかわり方について』講義をして頂きました。怒りにはそれぞれスタイルがあり、怒りのタイプの特徴とその対処方法を知り、思考のゆがみを引き起こす考え方と対処方法を理解することが出来ました。また、視線の合わせ方が怒りのトリガーになる事に改めて気づきました。

その後の交流会では 14 名の参加で意見交換をしました。訪問看護ステーションからは「少人数で行っているため、患者や家族からの不満や

クレームを相談できず、自分で抱え込み責任分散が出来ない」という意見があり、山谷先生から「気づいていなかった事をよく言ってくれました」とその思いを受け止める事が重要であるとアドバイスを頂きました。会場は和やかな雰囲気、講師からの具多的なアドバイスにより、明日からの業務に活かせる内容でした。

アンケートからは、「感情コントロールについて楽しく学ぶことが出来た」「講演内容が多岐にわたっていたのでもう少し時間を取ってききたかった」等の感想のほか、「山谷先生の講義をもう一度受けたい」「怒りの対応を学んだので、認知行動療法を学びたい」等、たくさんの意見をいただきました。



研修会の様子

《 編集後記 》

今年の夏は特に短く、8 月にはすでに秋の空気が纏っていました。やはり、北海道の夏は短いですね。さて、今年の台風や豪雨、猛暑と全国各地で災害が発生しました。被害に遭われた皆様、ご関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

災害については、改めて避難経路や備えを見直しておくことの重要性を感じている今日このごろ……

広報出版委員 S・K

